

「おじいちゃんの散歩」

前谷 陽咲

私の家族は両親と年長の妹、年中の弟の5人家族です。そして、すぐ近くにおじいちゃんとおばあちゃんが住んでいます。

私は、小学校の一年生の頃から、毎朝おばあちゃんの家によって、おじいちゃんと一緒に学校へ通っています。一年生の頃は、学校の前の信号機がない道を渡るのが危ないから、私が渡るのを見るために送ってくれていました。学校に行くのも慣れてきてからも、おじいちゃんは夏の暑い日も、雨の日も、毎日学校の前までついてきてくれて、私を見送るとまた一人で家に帰るということを、6年生の今でもしてくれています。おじいちゃんは、「健康の為に、毎日学校までお前と散歩してるんや。」といいます。おばあちゃんは、「一緒に歩いている間に、お家や学校での話しをするのが楽しみなのよ。」と、私にこっそりと教えてくれました。

来年は私も中学生。中学もおじいちゃんと一緒に行きたいなあと思いますが、中学校は小学校よりだいぶ遠くなるので、おじいちゃんには大変です。なので、おじいちゃんの散歩は、少しさみしいけれど、来年からは一年生になる妹にバトンタッチしようと思います。